

現在取り組んでいる研究テーマ

- 住宅環境ライフサイクルインパクト統合システム HELIOS の開発
 - プログラムの開発, 運用効果の検証
- 自治体向け全庁統合型時空間地理情報システムに関する研究
 - 要素技術の開発, 運用効果の検証
- こどもにやさしいまちづくりの評価
 - 評価方法の検討, 調査と資料化

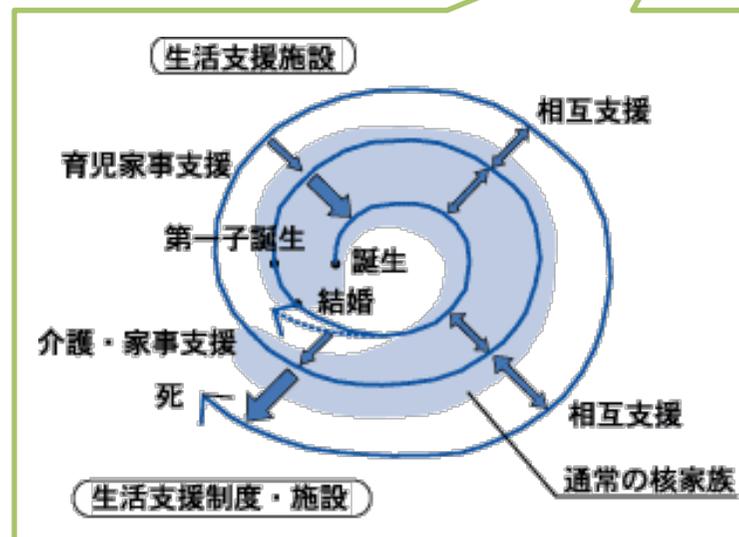
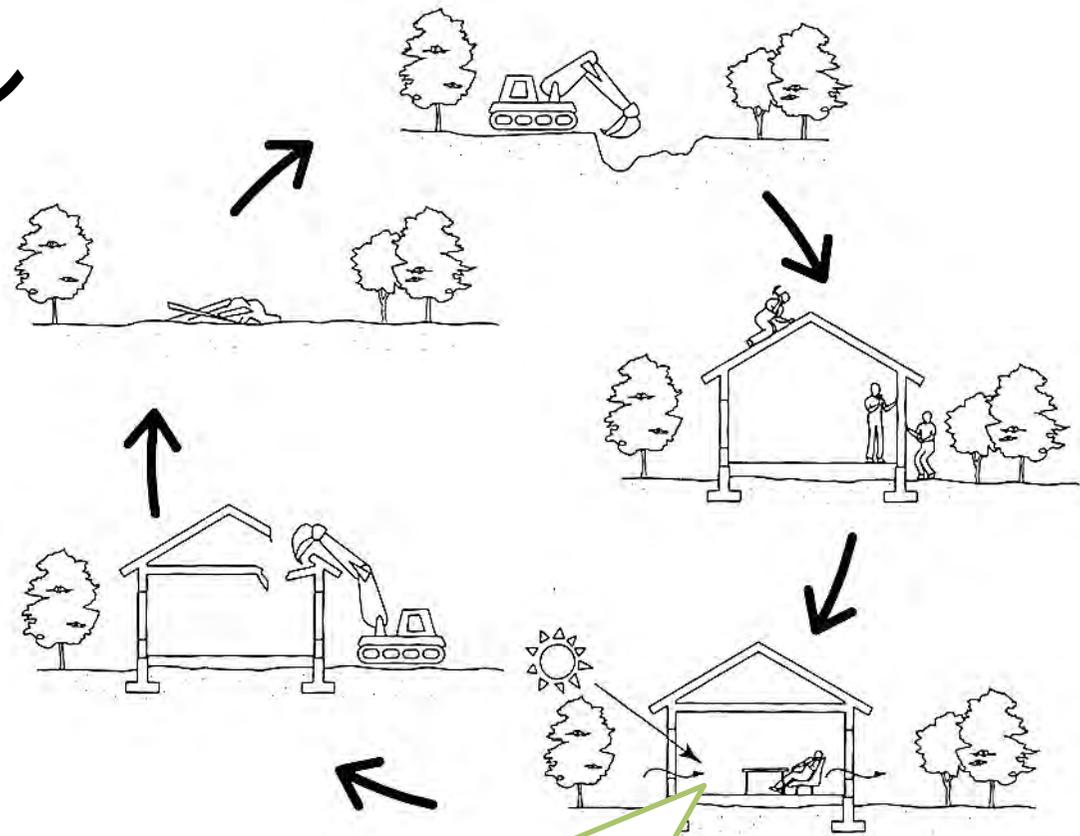
ライフサイクル

①建物や物品の原料採取から製造・輸送・使用・修理・廃棄に至るまでの期間。

②建物や物品の耐用期間。

③精神分析家のE・H・エリクソンが示した人間の発達段階。乳児期から老年期まで8段階に分かれる。

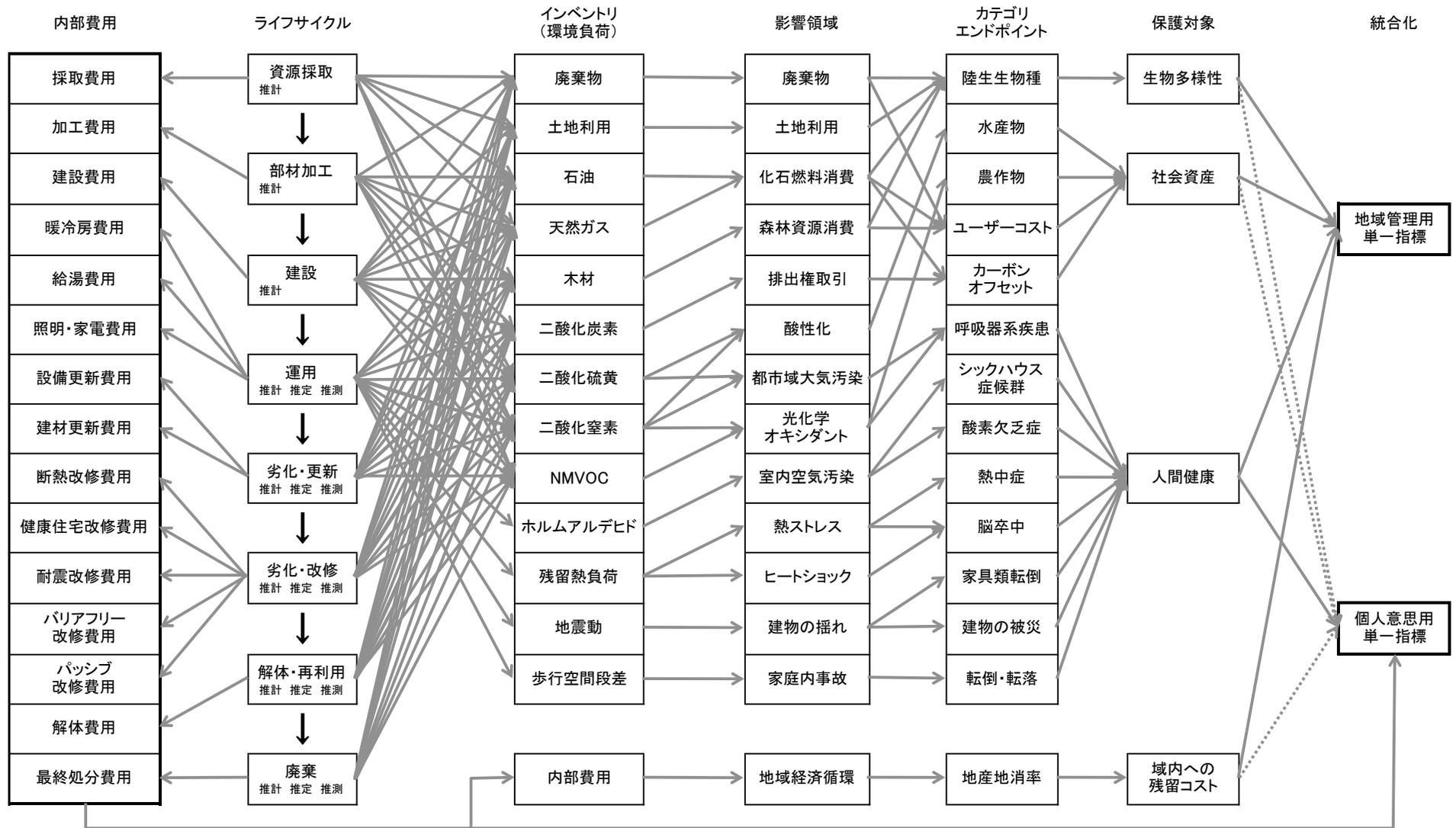
④家族が形成されてから発展して衰退し消滅するまでの変化。住形態などに影響を与える。



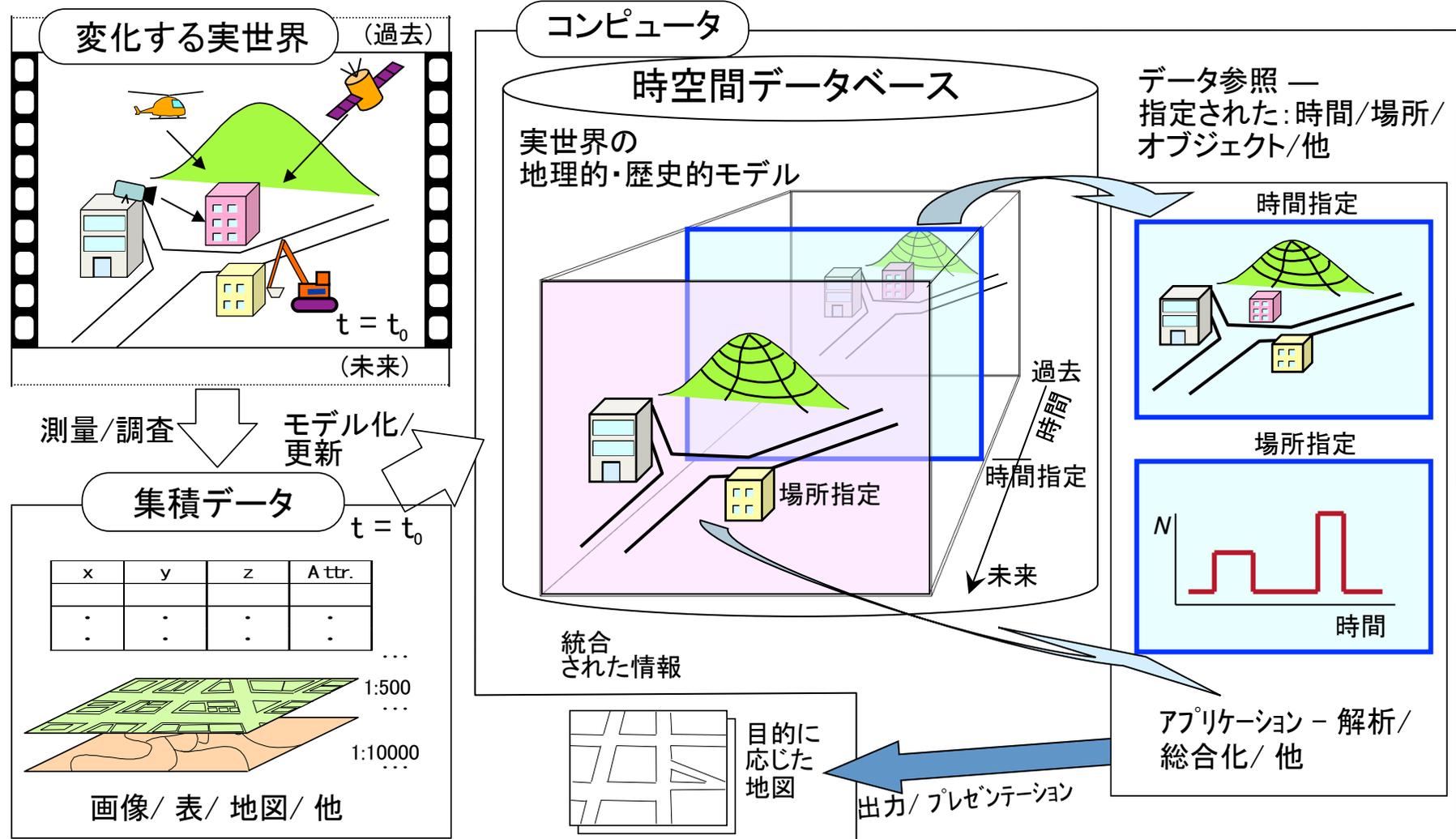
↑「建築設計資料集成・総合編(丸善)」より

←鹿児島県のホームページより

住宅環境ライフサイクルインパクト統合システム HELIOS (House Environment Life-cycle Impact Organizing System) の開発



時空間地理情報システム



自治体向け全庁統合型 時空間地理システムに関する研究

The screenshot displays a GIS application window titled "由利本荘市全庁統合型時空間GIS Ver2008.1.17.1 - 101_本荘支所". The interface includes a menu bar, a toolbar with various GIS functions, and a main map area. A red polygon is overlaid on a grid and building outlines. Three dialog boxes are open:

- 時間遷移 (Time Transition):** Shows "時間遷移 実行中 --> H19.10.03". Fields include:
 - 開始日 (Start Date): H19.10.01
 - 終了日 (End Date): H20.01.31
 - 変移単位 (Transition Unit): 1 日 (1 Day)
 - 変移速度 (Transition Speed): 1000 ms
 - 繰返回数 (Repeat Count): 1 回 (1 Time)
- 表示期間指定 (Display Period Specification):** Shows "表示期間指定" with "日付指定" set to "H20.02.26". A calendar for February 2008 is displayed, with the 26th selected. Buttons for "今日" (Today), "確定" (Confirm), and "閉じる" (Close) are visible.
- 管理情報参照 (Management Information Reference):** Shows "管理情報参照" with the following details:
 - データ種別 (Data Type): 埋蔵文化財包蔵地 (Buried Cultural Heritage Site)
 - 時間情報 (Time Information): 決定日 (Decision Date) is 不明 (Unknown), 変更日 (Change Date) is 未定 (Undetermined).
 - 基本情報 (Basic Information): 地図番号 (Map Number) is 5-21, 遺跡名 (Site Name) is 長老沼 (Eijuro), 所在地 (Location) is 石脇字上長老沼 (Ishiwaki-ji Ue-Eijuro), 時代 (Period) is 縄文(晩期) (Jomon, Late).

The status bar at the bottom indicates "日付指定: H20.02.26", "スナップ オフ" (Snap Off), and "19座標(10)系 X=-65928.206, Y=-67018.786".

こどもにやさしいまちづくりの評価

※ユニセフの「こどもにやさしいまちの基本(構造と活動)」

- こどもの参画
- こどもにやさしい法的枠組み
- 都市全体にこどもの権利を保障する施策
- こどもの権利部門または調整機構
- こどもへの影響評価
- こどもに関する予算
- こどもの報告書の定期的発行
- こどもの権利の広報
- こどものための独自の活動



ユニセフのホームページより